





(その四)

工場又は事業場の名称	日清紡ケミカル株式会社 旭事業所
------------	---------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策  
 (1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度				
	平成 13 年度				
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	1	2	0	0	0
	× 1 0				
排出等の量 (kg/年度)			3	1	0
処理回収率 (%)				9	7

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)				
---	--	--	--	--

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。  

$$\{ (\text{使用量} - \text{排出等の量}) / \text{使用量} \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
1	1	2	9	9					

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策1 : メチクロの事業所内使用禁止 (ISO14001目標 達成済み)
対策2 : 発泡機洗浄作業変更 (低揮発性溶媒へ) : 中止 (保全時ホースは廃棄)
対策3 : 塗装必要な商品の生産販売中止

備考 この項の提出は任意であること。







(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 奈良工業所 本社
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2 3	3 4	3 9							

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

洗浄条件の改善(各層の時間や数量の見直し)による 溶剤使用量の削減

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2 3	3 4	3 9							



















(その三)

工場又は事業場の名称	二宮産業株式会社 長南工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1		対策 2		対策 3		対策 4		対策 5		対策 6		対策 7		対策 8		対策 9		対策10	
1	2	2	1	2	2	2	9	3	3	9	1								

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

課題：顧客の増産要求に応えなければならず、市場により変動する。

対応 ① ハイソリッド塗料の使用6月より開始・シンナー排出量の削減

② メラミン(焼き付け塗料)をウレタン塗料に顧客依頼により排出量削減

③ 排シンナー・排塗料をリサイクル業者引き取り手配し、リサイクルシンナーとして使用するようにする。

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1		対策 2		対策 3		対策 4		対策 5		対策 6		対策 7		対策 8		対策 9		対策10	
1	2	2	1	2	2	2	9	3	3	9	1								



(その三)

工場又は事業場の名称	横浜容器工業株式会社 千葉工場
------------	--------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1	1	2	1						

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

当社の重点取組設備である外面塗装設備について蓄熱燃焼方式での設備検討を進めています。
設備検討段階の問題として、設備費用・使用する燃料エネルギーの増大、
大幅な工場レイアウトの変更が必要となるなど、23年度中の設備の竣工、排出量削減率の
目標の達成が困難な見通しです。
また、大きな効果が期待できる溶剤の低VOC化を引き続きの目標として設定し、
削減目標である30%を達成できるよう取組ます。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1	1	2	1						

(その三)

工場又は事業場の名称	日本オーチス・エレベータ(株) 芝山工場
------------	-------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	1 2	1 9	2 1	2 3	2 2	2 9	3 1		

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

1 9 塗料のリサイクル (残った塗料を調色し直し、別の色を作成)
2 9 塗装装置の吹き付けの稼動範囲 (吹き付けのタイミング) を適正化し 無駄な塗料吹き付けを削減

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	1 2	1 9	2 1	2 3	2 2	2 9	3 1		









